



# 夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校  
学校通信第9号(R4. 5. 30)

## 河東中の底力を魅せた体育祭！



5月27日(金)、晴天に恵まれる中、第37回体育祭を開催しました。2度の延期を乗り越えて、生徒たちはたくましくのびのびと競技していました。練習の中断を経験し、気持ちも体調もコントロールするのが難しかっただろうと思います。そんな困難を乗り越えて、体育祭を成功させる河東中生は素晴らしいと思います。また、今回の体育祭で様々な困難を克服したことは、将来必ず役立つ経験となるでしょう。

7年生は、体育祭を終えてはじめて中学生になると言われます。しかし、今年の7年生は覚えが早く動きも良く、しっかり先輩たちについてきていました。

8年生は、持ち前の元気さと明るさがある学年なので、体育祭の練習を通して単なる中堅という位置でなく存在感がありました。来年度の体育祭のリーダーシップが楽しみです。

9年生は、どのブロックもしっかりしたリーダーシップのもと、ち密な計画と準備で体育祭成功の原動力となりました。実行委員長とブロックリーダーの言葉から多くのことを学び、気づくことがたくさんあったのではないのでしょうか。

体育祭の目的の一つは、「集団づくり」にあります。人と人が協力して何かを行う、何かを創り上げる。協力する喜びや楽しさ、むずかしさなどを実感する絶好の機会です。学級の絆をつくる、ブロックが団結する、言うのは簡単ですが実際はむずかしいものです。ブロックコンクールをはじめ体育祭には集団づくりの場面が多くあります。その実体験から生徒たちはたくさんの経験を積みました。

早稲田大学の河合茂雄先生によると、学級集団等が意図的に形成されるとその集団は学力がグンと伸びるのだそうです。今回の体育祭で河東中につくられた集団、または協力することの大切さを知った河東中生は、もちろん学力も向上していくでしょうし、部活動やクラブチームでの活躍、これからの学校行事での成功につながっていくことでしょう。

また、この体育祭を通して、生徒一人一人が成長しました。体力はもちろん、粘り強さ、あきらめない心、最後までやり抜く力などたくさんの力を身に付け、成長していきました。これからの学校生活でそうした様々な力も発揮されることでしょう。



体育祭が終わりほっと一息つきたいところですが、10 日後には今年最初の定期考査が始まります。気持ちを切り替えて、計画的に試験対策に取り組んでいきましょう。

## 試験に成功する方法？

### ～ 道元が弟子に話した成功の法則 ～

今から 800 年前、鎌倉時代のはじめに道元という歴史の教科書にもものっている僧侶がいた。彼は、中国の宋で勉強し帰国後、現在の福井県に永平寺で曹洞宗をひらいた。

ある時、弟子が道元にこう質問した。

「人間には、なぜ成功する人としらない人がいるのですか？」

「教えてもよいが、一度自分でよく考えなさい。」

道元の答えに弟子は一晩考えたが、よくわからない。

翌朝、弟子は道元をたずね、ふたたび聞いた。

「昨晚考えましたが、やはりわかりません。教えてください。」

「それなら教えてやろう。成功する人は努力する。成功しない人は努力しない。その差だ。」

弟子は、ああ、そうか、と大喜びした。だがその晩、疑問がわいてきた。どうして努力する人としらない人がでてくるのだろうか？ 翌日、弟子はまた道元の前に出てたずねた。

「昨日はわかったつもりになって帰りましたが、どうして人間には努力する人と努力しない人がいるのでしょうか？」

「努力する人には目標がある。努力しない人には目標がない。その差だ。」

道元の答えに弟子は大いこうなずき、意気揚々と家路につく。しかしその晩、またまた疑問がわいてきた。どうして目標がある人とない人が生じるのだろうか？

弟子は四度道元の前に出て、そのことを問うた。道元はこう言った。

「目標のある人は、人間には時間が限られていることを知っている。生きている時間、仕事や物事をなす時間は限られていることを知っている。目標のない人は、人間の時間は限らいることを本当の意味で知らない。その差だ。」

道元が弟子に伝えたかったことは、4つある。

- ① 人間は誰でも、成功できる。
- ② 成功するためには努力が必要である。
- ③ 努力するためには、目標が必要である。
- ④ 人間がことをなすには、時間が限られている。

これから、河東中の生徒のみなさんは本年度最初の定期考査へと向かいます。道元の教えにあるように、誰でも試験で成功することができます。そのためには、目標を持って一日一日努力を積み重ねることです。勉強できる時間には、限りがあるので計画的に進めましょう。

最後に、道元があらわした本から現代語訳して引用します。

「物事に成功できるかどうかは、生まれつきの賢さや愚かさによるものではない。修行する者は必ず悟りに達することができる。

ただ一生懸命に努力する人となまけてやる人とは、当然早い遅いの差が生じる。努力するかなまけるかは、目標が切実かどうかの違いによる。目標が切実でないのは、時間を思わないからだ。人は、刻々と自分の持っている時間を失っていく。だからこそ生きている時間を大切にして、自分を磨いていかなければならない。」

